

令和3年度 決算について

1. 資金収支計算書

資金収支計算書の内容は、当該会計年度中のすべての収入及び支出の内容と資金の顛末を明らかにするものです。収入には借入金収入等の負債となる収入なども含まれ、支出には経費のほか資産を形成する資本的支出及び借入金返済支出等も含まれています。従って資金収支計算書には、当該期間中の資金を伴う取引がすべて網羅されています。

令和3年度の当年度収入合計の決算額は20,449百万円で、これに前年度繰越支払資金の9,271百万円を加え、収入の部合計は29,720百万円となりました。

一方、当年度支出合計の決算額は20,115百万円で、これを収入の部から差し引くと翌年度繰越支払資金は9,605百万円（予算対比1,536百万円）となりました。

2. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は当該会計年度中の事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにし、収支の均衡状態が保たれているか否かを計算、表示しているものです。

財政の運営状況を示す事業活動収支計算において、基本金組入前当年度収支差額は法人全体で929百万円の収入超過（予算対比835百万円改善）、当年度収支差額は237百万円の支出超過（予算対比683百万円改善）となりました。

なお、翌年度に繰越される収支差額は9,356百万円の支出超過となりました。

3. 貸借対照表

貸借対照表は決算日における資産、負債並びに純資産を明らかにし、学校法人の財政状態を表すものです。令和3年度末における法人全体の資産総額は127,960百万円となりました。総資産は前年度比685百万円の増加となり、財政基盤の安定度強化に努めた結果となっています。

この結果として、純資産（資産総額から負債総額を控除した額）は1,146億4,800万円となり、前年度末に比べて9億2,900万円の増加となりました。

基本金は12億4,100万円減額して1,240億500万円となりました。内訳は、①第1号基本金（教育研究充実向上のために取得した固定資産）は1,049億2,600万円、②第2号基本金（将来取得する固定資産の取得にあてる資産）は28億円、③第3号基本金（奨学基金並びに経営基金として積み立てられている資産）は152億2,800万円、④第4号基本金（恒常的に保持すべき資金）は10億5,100万円となっております。

繰越収支差額は、累積で93億5,600円の支出超過となりました。